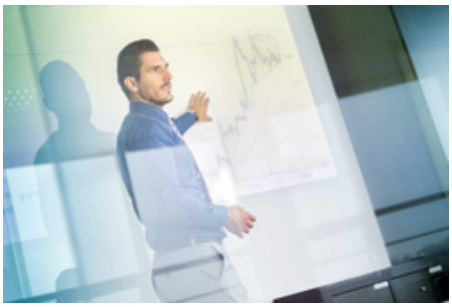
強い会社の着眼点（第1回）

視線が集まるプレゼンテーション

2016.09.07



「プレゼンテーション（プレゼン）がうまくなりたい」。これはビジネスパーソンにとって共通の願いだろう。社外でのプレゼンだけでなく、社内で承認を得るためのプレゼンも仕事を進めるためには重要となる。自分の考えを相手に的確に伝えることは、あらゆるビジネスの成否を決める大きな要素だ。では、具体的にどうすればスキルアップにつながるのだろうか。

押さえておきたい優れたプレゼンのポイント

改善点を明確にするため、プレゼンを行うに当たって注意すべきポイントを挙げてみよう。

(1)テーマがはっきりしているか
プレゼンでは中心となるテーマを目立たせることが重要。いくら提案したい事柄が多くても、要素を詰め込み過ぎると、どうしてもメーンテーマが埋もれてしまい、相手の心に届かない。

(2)共感を与える内容か
聴き手に少しでも「つまらない」「退屈」といった印象を与えたら、そのプレゼンは失敗だ。相手が興味を持っている分野や考え方の傾向を事前にリサーチし、より共感を与える構成を心掛ける。

(3)テンポよく進めているか
プレゼンには時間制限が設けられているケースが多い。要点を整理してプレゼンを組み立て、テンポよく話す。かといって、時間切れを恐れて早口になってしまうのはNGだ。

(4)資料は分かりやすいか
配布資料は重要なツールだ。文字が多過ぎたり、グラフや表が細か過ぎたりする資料は聴き手の印象を悪くする。提案内容が十分に理解されないといった結果にもつながりかねない。

(5)オリジナリティーが前面に出せているか
プレゼン終了後、聴き手の心に残った印象が成否を左右する。魅力ある提案とは、その人ならではのオリジナリティーを持っているものだ。プレゼンに思いを込めて、個性が出るようにするのがコツ。事前に作成した原稿を、棒読みするだけでは相手に響かない。

聴き手の視線を「下」ではなく「前」にする… 続きを読む